

日本放送協会会長 前田晃伸殿

次亜塩素酸水に関する誤報道に関する公開質問状

次亜塩素酸水溶液普及促進会議は、5月29日のNHKのニュース放送で『次亜塩素水現時点では有効性は確認されず NITE が発表』という報道をきっかけにして、全国で次亜塩素酸水溶液の有効性と安全性への不安と混乱が広まり、この風評による次亜塩素酸水溶液の使用取り止めが広がることによるウイルス感染拡大を危惧した 研究者、メーカー、ユーザーなどが結成した団体です。

このNHKニュースにより全国に広がった誤った風評により1か月近くも商品が売れず、ユーザーからの信頼も失ってしまった業界は存亡の危機にあり、NHKに対して正しい科学的事実による公正な修正報道を求め、以下の質問についての回答を求めます。

- 一. 製品評価技術基盤機構も明確に報道内容を否定している5月29日の報道がなされた根拠はなにか。
- 二. その後、製品評価技術基盤機構が6月2日にファクトシートのQAの変更で報道の誤りを詳細に指摘しているのになぜ修正報道を行わなかったのか。NEWSWEB ニュースではその後、6月4日付けでWEB上記事を一部更新し、記録動画も削除しているが、世間に間違った風評が広がりつつある中で、重要な事実の誤認があったことがわかり風評を正すチャンスがあったのににもかかわらずニュース放送において修正報道しなかったのはなぜか。
- 三. 6月11日の当会議が開催した次亜塩素酸水溶液の有効性と安全性に関する科学者による記者会見にNHK記者の取材報道がなかったのはなぜか。この翌日のおはよう日本では「不安と混乱が広がっている」報道を行っているが、不安と混乱を抑えることを目的に開催した、風評被害者である業界と科学者の記者会見を取材せずに、会見の内容も報道しなかったのはなぜか。

以上お答えいただきたい。

2020年6月23日

次亜塩素酸水溶液普及促進会議

代表 越智文雄



札幌市北区北11条西2丁目2-17 セントラル札幌北ビル 4F

TEL 011-757-6317

info@jia-jp.com

https://jia-jp.com

[報道内容]

NEWSWEB ニュース 5月29日 18時49分 NHK 報道 (修正前) ※下線赤字は修正部分

「次亜塩素酸水」現時点では有効性は確認されず NITE が発表

NITE＝製品評価技術基盤機構は新型コロナウイルスの消毒目的で利用が広がっている「次亜塩素酸水」について、現時点では有効性は確認されていないとする中間結果を公表しました。NITEでは噴霧での使用は安全性について科学的な根拠が示されていないなどとして控えるように呼びかけています。NITEなどはアルコール消毒液に代わる新型コロナウイルスの消毒方法の検証を進めていて、29日「次亜塩素酸水」についての中間発表を公表した。検証では、2つの研究機関で、酸性度や、塩素の濃度が異なる次亜塩素酸水が新型コロナウイルスの消毒に有効かどうかを試験しました。

その結果、一部にウイルスの感染力が弱まったとみられるデータもありましたが、十分な効果がみられないデータもあるなどばらつきが大きく有効性は確認できなかったということです。今後、塩素濃度を高くした場合などについて検証を続けるということです。

また NITE では、次亜塩素酸水は噴霧することで空間除菌ができるとして販売されるケースが少なくないことについて、人体への安全性を評価する科学的な方法が確立していないことや国際的にも消毒液の噴霧は推奨されていないことなどを紹介する文書を合わせて公表しました。

NITE は「加湿器などで噴霧することやスプレーボトルなどで手や指、皮膚に使用することは安全性についての科学的な根拠が示されておらず控えてほしい」と呼びかけています。

NEWSWEB ニュース 5月29日 18時49分 NHK 報道(修正後) ※下線赤字は修正・追加部分

「次亜塩素酸水」現時点では有効性は確認されず NITE が発表

NITE＝製品評価技術基盤機構は、新型コロナウイルスの消毒目的で利用が広がっている「次亜塩素酸水」について、現時点では有効性は確認されていないとする中間結果を公表しました。専門家は、噴霧での使用は安全性について科学的な根拠が示されていないなどとして注意を呼びかけています。

NITE などはアルコール消毒液に代わる新型コロナウイルスの消毒方法の検証を進めていて、29日「次亜塩素酸水」についての中間発表を公表しました。

検証では、2つの研究機関で酸性度や塩素の濃度が異なる次亜塩素酸水が新型コロナウイルスの消毒に有効かどうかを試験しました。

その結果、一部にウイルスの感染力が弱まったとみられるデータもありましたが、十分な効果がみられないデータもあるなどばらつきが大きく有効性は確認できなかったということです。今後、塩素濃度を高くした場合などについて検証を続けるということです。

また NITE では、次亜塩素酸水は噴霧することで空間除菌ができるとして販売されるケースが少なくないことについて、人体への安全性を評価する科学的な方法が確立していないことや国際的にも消毒液の噴霧は推奨されていないことなどを紹介する文書を合わせて公表しました。

議論に関わった専門家は「加湿器などで噴霧した場合に塩素を吸い込むことの安全性はまだ科学的な根拠が示されていない。手や指の消毒に使うスプレーボトルなども含めて現時点では

新型コロナウイルス対策として使うのは控えてほしい」と話しています。

一方、「次亜塩素酸水」として販売されている製品の中には、新型コロナウイルス対策とは別の用途で手指消毒への使用が認められているものがあるということです。

※最新の取材内容に基づいて、記事を一部更新しました。(6月4日)

製品評価技術基盤機構(NITE)のホームページより中間発表に関する QA (6月2日) 抜粋 (下線は当会議付記)

次亜塩素酸水に関すること

Q:「次亜塩素酸水」と「次亜塩素酸ナトリウム」は同じものですか？

A:違うものです。

「次亜塩素酸ナトリウム」は、塩素系漂白剤などの主成分として用いられるアルカリ性の物で従来から新型コロナウイルスの消毒に使われています。「次亜塩素酸水」は、電気分解などの手法で作られる酸性の液体で、新型コロナウイルスへの有効性については、現在検証中です。

Q:「次亜塩素酸水」は、新型コロナウイルスに効果がないのですか？

A:「次亜塩素酸水」の新型コロナウイルスに対する効果については、検証試験が継続中であり、まだ結論は出ていません。

現在、効果の検証作業を、関係機関の協力を得て進めているところです。塩素濃度や酸性度(pH)等の条件によって効果が変化するため、評価にあたっては、様々な条件での検証を行う必要があります。

今までのところ、新型コロナウイルスに対して一定の効果を示すデータも出ていますが※2020年5月29日現在、全体として有効性評価を行う上で十分なデータが集まっていないことから、委員会において、引き続き検証試験を実施することとされました。今後、早期に結論を得ることを目標に、検証作業を続けてまいります。

※塩素濃度 49ppm (pH5.0) で、20秒で感染力を 1000 分の 1 まで減少させた例がありました。

Q:「次亜塩素酸水」で手指消毒を行ってもよいのですか？

A:今回の有効性評価は、アルコール消毒液の代替となる身の回りの物品の消毒方法の評価が目的であり、手指消毒は評価対象となっておりません。

「次亜塩素酸水」を手指や皮膚の消毒で利用することは安全面から控えるよう弊機構が公表したとする報道が一部にあります。手指、皮膚での利用の是非について何らかの見解を示した事実はありません。「次亜塩素酸水」の利用に当たっては、メーカー等の提供する情報等をよく吟味し、ご判断をいただければと存じます。

Q:「次亜塩素酸水」の空間噴霧は行ってもよいのですか？

A: 今回の有効性評価は、アルコール消毒液の代替となる身の回りの物品の消毒方法の評価が目的であり、空間噴霧は評価対象となっておりません。

「次亜塩素酸水」の噴霧での利用は安全面から控えるよう弊機構が公表したとする報道が一部にありますが、噴霧利用の是非について何らかの見解を示した事実はございません。

「次亜塩素酸水」を消毒目的で有人空間に噴霧することは、その有効性、安全性ともに、メーカー等が工夫して評価を行っていますが、確立された評価方法は定まっていないと承知しています。
メーカーが提供する情報、経済産業省サイトの「ファクトシート」などをよく吟味し、ご判断をいただければと存じます。

Q:「ファクトシート」は、経産省・NITEの見解として出されたものですか？

A: 本資料は、新型コロナウイルスの消毒において期待される「次亜塩素酸水」について、その販売実態や空間噴霧をめぐる事実関係を、現時点までに得られた情報に基づいて経済産業省がまとめたものです。経産省やNITEとして何らかの見解を示すものではありません。今後、新たな知見が得られましたら随時修正が行われます。

また、「ファクトシート」に記載の内容についてのお問い合わせは、以下をお願いします。

Q: 一部報道において、「次亜塩素酸水の有効性は（現時点において）確認されていない」とありますが、これは事実ですか？

A: 次亜塩素酸水の新型コロナウイルスに対する効果については、検証試験が継続中であり、まだ結論は出ていません。

塩素濃度、酸性度等の様々な条件で効果が変化しうることから、有効性評価を行うための十分なデータを集めるため、関係機関に検証試験を進めていただいています。このため、5月29日付のプレスリリースにおいても、『次亜塩素酸水』については、今回の委員会では判断に至らず、引き続き検証試験を実施することとされました」と発表させていただいております。

「有効性がない」かのような内容を弊機構が公表していると誤解しうる報道も一部にありますが、そうした事実はありません。「有効性がある」、「有効性がない」、または「どういう条件の場合に 有効性がある（ない）」のかについて、現時点ではまだ判断できない段階であると
ご理解をいただければと存じます。